

分野	科目名	単位(時間)	講師所属	
基礎分野	情報科学	2(45)	外部講師	
	開講時期	講義回数		
	2学年前期	22回		
実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
目 標	情報通信技術(ICT)に関する基礎知識およびPCスキル・ICT活用スキルを学びながら、社会人として求められる情報の処理・判断力を養う。ICTに関する調べ・発表を通じて理解を深め、演習を通して自発的なICTの利活用を促す。			
授業内容	回	項 目	内 容	
	1 2	授業説明 ICTの概要、ICT発表の説明 PC基本操作、タイピング練習	授業説明:授業の流れとシラバスの説明、ICTに関する説明とICT発表のスケジュール決定、PC基本操作とタイピング練習を行う(配布プリント:シラバス、その他)	
	3 4	ICTと情報セキュリティ Word基礎1	情報通信技術(ICT)と情報セキュリティに関する学習 第1~2章 文章の作成 追加内容:自己紹介及び資料収集のお知らせ	
	5 6	ICT発表 Word基礎2	受講生によるICT発表 第3章 グラフィック機能 追加演習:自己紹介の作業	
	7 8	ICT発表 Word基礎3	受講生によるICT発表 第4章 表のある文章 追加演習:自己紹介の完成と提出	
	9 10	ICT発表 Excel基礎1	受講生によるICT発表 第5~6章 Excel、データ入力、計算式、罫線と書式設定 文字と数値の違い(表示しきれないとき)、###の説明、追加演習	
	11 12	ICT発表 Excel基礎2	受講生によるICT発表 第7章 関数、相対参照と絶対参照 追加演習(追加演習3は配布プリント2枚:基本的関数) (注:追加演習3は、余裕のある場合に適宜行うものである)	
	13 14	ICT発表 Excel基礎3	受講生によるICT発表 第8章 グラフの作成、追加演習(折れ線グラフほか)	
	15 16	ICT発表 Excel基礎4	受講生によるICT発表 第9章 データ分析 追加演習	
	17 18	ICT発表 Excel応用	受講生によるICT発表 追加内容:条件分岐IF、絶対参照 追加演習(配布プリント4枚:IF関数、絶対参照と相対参照)	
	19 20	ICT発表 ICT活用1	受講生によるICT発表 第10章 アプリ間でデータを共有しよう 追加演習	
	21 22	ICT発表 ICT活用2	受講生によるICT発表 PC、タブレットPC、スマホの間のデータ共有 アプリの活用	
	23	復習・試験	総合復習、定期試験	
	教科書 参考書	よくわかる Microsoft Word 2013 & Microsoft Excel 2013 (FOM出版)		
	評価方法	試験、提出課題、発表、平常点(出席率、積極性など)により評価する。		

分野	科目名	単位(時間)	講師所属
基礎分野	生物学	1(30)	外部講師
	開講時期	講義回数	
	1学年前期	15回	
実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
目標	<p>基本的な生命現象の諸様相を通覧することにより、生物学全体に関わる基礎知識を学習し、人が生きていること(生命)を自然科学の面から解明し、かつ環境との関わりを学習する。</p> <p>この生命の基本現象や法則を知ることにより、生命の尊厳を考える。また看護の対象である人間理解への基礎を作る。</p>		
授業内容	回	項目	内容
	1	生物学を学ぶにあたって	1. 生命観の変遷、生命と生物学
	2	生命体のつくりとはたらき	1. 細胞のその構成、細胞の化学成分
	3		2. 水の機能、タンパク質の本質
	4		3. アミノ酸の特性、糖質・脂質の役割
	5		4. 受動・能動輸送、細菌、ウイルス
	6	生体維持のエネルギー	1. 生体内の化学反応
	7		2. 酵素、補酵素の反応、同化と異化 3. 異化作用と生命活動
	8	細胞の増殖とからだのなりたち	1. 細胞分裂、細胞の分化
	9	遺伝子情報の伝達と発現のしくみ	1. ヒトの遺伝、対立遺伝子 DNA
	10		2. DNAとタンパク合成、血液と血液型
	11	生殖と発生	1. 無性・有性生殖、受精と発生
	12		2. ヒトの発生、生殖に関するホルモン
	13	個体の調整	1. 恒常性、免疫、自律神経、ホルモン
	14	刺激の受容と行動	1. 神経系の情報伝達
	15	生物群と環境のかかわり	2. 生物の個体間の関係と生態系
16	テスト		
教科書 参考書	系統看護学講座 生物学(医学書院)		
評価方法	筆記試験にて評価する。		

分野	科目名	単位(時間)	講師所属
基礎分野	発達心理学	1(30)	外部講師
	開講時期	講義回数	
	1学年前期	15回	
実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
目 標	各発達段階の心身の変化・変容と発達課題を理解する。		
授業内容	回	項 目	内 容
	1	授業についての説明	1. 自己紹介、授業計画
	2	発達心理学とは	1. 発達心理学の研究対象、発達の原理、発達課題
	3	発達の諸理論	1. エリクソンの学説
	4	乳幼児期	1. 知覚の発達
	5	乳幼児期	1. 言葉の発達
	6	児童期	1. 思考の発達
	7	児童期	1. 社会性の発達
	8	青年期	1. アイデンティティの確立
	9	青年期	1. 恋愛の心理
	10	成人期	1. 仕事に就くこと
	11	成人期	1. 親になること
	12	老年期	1. 高齢者の記憶
	13	老年期	1. 高齢者の知能
	14	老年期	1. 恍惚の人(ビデオ)
		15	まとめ テスト
教科書 参考書	エピソードでつかむ生涯発達心理学 岡本祐子・深瀬裕子著 ミネルヴァ書房		
評価方法	筆記試験にて評価を行う。		

分野	科目名	単位(時間)	講師所属
基礎分野	地域社会学	2(45)	外部講師
	開講時期	講義回数	
	1学年前期	22回	
実務経験		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
目 標	1. 社会の構造と機能を学び、社会と人間とのかかわりを理解し、人間の社会的な面から考えることができる 2. 明石市の町の特色を理解し、地域理解を深めることができる。		
授業内容	回	項 目	内 容
	1	社会学とは	1. 社会学の概念と枠組みについての基本的な知識と理解
	2	社会で生きる「私」	2. 相互行為と自我形成についての基本的な知識と理解
	3	変容する家族のかたち	3. 社会調査の理論と技法
	4	社会学とは	
	5	健康・病気と社会	1. 健康・病気・ストレスの新しい見方ととらえ方
	6		2. 健康・病気の社会格差
	7		3. 「働き方」「働かせ方」と健康・病気
	8	保険医療における行為・関係・組織・制度	1. 健康・病気行動と病経験
	9		2. 患者—医療者関係とコミュニケーション
	10		3. 保健医療の専門職
	11		4. 性・ジェンダー・家族と保健医療
	12		5. 地域社会と保健医療
13	6. 保健医療制度		
14	保健医療の現代的課題	1. 保健医療の現代的変化の位相	
15		2. ケアと医療:新しい地平を求めて	
16			
17	明石市の歴史	1. 明石原人～現在	
18			
19	明石市の動向	1. 人口(出生率・死亡率・結婚率・離婚率・高齢者率・少子化問題)	
20		2. 健康維持のための現状と対策	
21	明石市の災害対策	1. 災害に対する取り組みについて	
22			
23	テスト		
教科書 参考書	大学生のための社会学入門 晃洋書房		
評価方法	筆記試験にて評価を行う。		

分野	科目名	単位(時間)	講師所属
基礎分野	人間関係論	1(30)	外部講師
	開講時期	講義回数	
	2学年前期	15回	
実務経験		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
目 標	看護の基本技術である言語の重要性を理解し、表現力、対応力、理解力、共感的理解、傾聴などについて学び実践できる能力を養う。また教育が人間発達に大きく影響し、人間を作ることを理解するとともに生涯学習の必要性について考えることができる。		
授業内容	回	項 目	内 容
	1	授業についての説明	1. 人間の基本的特徴と看護者
	2	人間存在と人間関係	1. セルフ・マネジメント
	3		2. 自己理解と他者理解
	4		3. 5つの反応の仕方
	5		4. 相手がかかえる問題を手助けできないのは何故か？
	6		5. 受容と非受容
	7		6. 受容に徹する態度
	7		7. 「聞く」と「聞き入れる」の違い
	7		8. 自己受容と他者受容
	8	コミュニケーションとは	1. アクティブリスニング
	9		2. 真のメッセージと記号化されたメッセージ
	10	人間関係のスキルトレーニング	1. ケースディスカッション(1)
	11		2. ケースディスカッション(2)
	12		3. 「あなたメッセージ」と「わたしメッセージ」
13	4. 心の病と「アクティブリスニング」と「わたしメッセージ」		
14	5. 人生のマネジメントとリーダーシップ		
15	6. 10の問いかけ(キャリアビジョン)		
	テスト		
教科書 参考書	資料配布		
評価方法	筆記試験にて評価を行う。		

分野	科目名	単位(時間)	講師所属
基礎分野	カウンセリング理論	1(30)	外部講師
	開講時期	講義回数	
	2学年前期	15回	
実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
目 標	自分を知り、他者との良い人間関係を築くことができる。		
授業内容	回	項 目	内 容
	1	カウンセリングとは	1. 対人援助としてのカウンセリングについての理解
	2	傾聴の意味	2. 他者との信頼関係を築くために
	3	自己理解・他者理解	3. 自己覚知のワークを通して
	4	カウンセリングとコミュニケーション	4. エゴグラムによる対人関係特性の理解
	5	傾聴の実際	5. マイクロカウンセリングにおけるかかわり技法に基づき
	6	カウンセリングの諸理論と体系	6. 3大理論と歴史的発展の経緯
	7	カウンセリング理論	1. 精神分析
	8		2. 来談者中心療法
	9		3. 行動療法
	10		4. 認知行動療法ほか
	11	カウンセリングの対象	1. 病気と障害の理解
	12	チームに活かすカウンセリング	2. アサーション、コーチングの技法に学ぶ
	13	傾聴面接の演習	3. ロールプレイとクライアント体験
	14	看護師とメンタルヘルスケア	4. ストレスマネジメント、燃えつきを防ぐ
	15		
	16	テスト	
教科書	岩崎久志著「対人援助に活かすカウンセリング」晃洋書房 2020年刊行		
参考書	授業中に資料を配布する。		
評価方法	授業参加への積極度と筆記試験にて総合的に評価を行う。		



分野	科目名	単位(時間)	講師所属
基礎分野	コミュニケーション論	1(30)	外部講師
	開講時期	講義回数	
	1学年前期	15回	
実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
目 標	人間関係づくりの基盤になるコミュニケーションの意義を理解する。コミュニケーションの構成要素と過程を理解する。 またコミュニケーションの手段を知ることができる。		
授業内容	回	項 目	内 容
	1	授業の全体像と進め方	
	2	対人援助とコミュニケーション	対人援助職としての看護師に求められるコミュニケーション
	3	コミュニケーションとは	1. コミュニケーションの定義と分類
	4		2. 言語と非言語の関係
	5		3. 非言語コミュニケーションの重要性
	6	良好なコミュニケーションをとるには	1. よい人間関係を保つ条件
	7		2. 自己覚知の必要性
	8		3. 信頼関係を築くために
	9		4. 患者とのコミュニケーションを促進するには
	10		5. 有効なチーム医療の実現に向けて
	11		6. 事例を通して
	12	グループワーク	1. 実践体験をとおして学ぶ
	13		2. 実践体験をとおして学ぶ
	14		3. 実践体験をとおして学ぶ
15			
	テスト		
教科書 参考書	岩崎久志著「対人援助に活かすカウンセリング」晃洋書房 2020年刊行 授業中に資料を配布		
評価方法	授業参加への積極度と筆記試験にて総合的に評価を行う。		





分野	科目名	単位(時間)	講師所属
基礎分野	健康スポーツ科学	2(45)	外部講師
	開講時期	講義回数	
	1学年前期	22回	
実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
目 標	健康的なライフスタイルの形成の基礎を学ぶ。		
授業内容	回	項 目	内 容
	1	健康とは	1. 肉体的・精神的・社会的健康の意味
	2	現代社会の問題	1. アルコール・たばこ・生活習慣病について
	3	実技	1. 軽運動(ストレッチなど)
	4	トレーニングの原理原則	1. 3原理5原則の理解
	5	ストレッチ	1. 動的ストレッチ・静的ストレッチの理解
	6	実技	2. 動的ストレッチ・静的ストレッチの実技
	7	静的バランスと動的バランス	1. 静的バランスと動的バランスの理解
	8	SAQトレーニング	1. 身体活動の必要性について①(実技含む)
	9	筋線維タイプと目標心拍数	2. 身体活動の必要性について②(実技含む)
	10	発育発達とトレーニング	1. 発育発達とトレーニングの理解
	11	エイジング・女性のトレーニングについて	1. 老化と女性の体力について
	12	障がい者スポーツの理解①	1. 各障がいの理解とスポーツ
	13	障がい者スポーツの理解②	2. 各障がいの理解とスポーツ(実技を含む)
	14	障がい者スポーツの理解③	3. 各障がいの理解とスポーツ
	15	まとめ	
	16	テスト	
	17	ヨガ	1. 体をうごかしてみよう
	18		2. 呼吸を意識して体を動かしてみよう
	19		3. 体幹を意識して動かしてみよう①
	20		4. 体幹を意識して動かしてみよう②
	21	エアロビクス	1. リズムに合わせて体を動かしてみよう
	22		2. 速いリズムと遅いリズム
23	3. 大筋群を使って動いてみよう		
教科書 参考書	資料配布		
評価方法	筆記試験(70点)・受講態度・授業中課題・実技(30点)にて評価を行う。		